

## 若年者心臓検診対策専門委員会

- 日 時 令和5年2月2日（木） 午後3時～午後3時40分
- 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町  
鳥取県中部医師会館、鳥取県西部医師会館（テレビ会議）
- 出席者 13人  
〈鳥取県健康会館〉  
渡辺会長、吉田委員長  
岡田（克）・石谷・長谷川各委員  
オブザーバー：鳥取県教育委員会事務局体育保健課 前田指導主事  
健対協事務局：岩垣次長、梅村主任、廣瀬主事  
〈鳥取県中部医師会館〉橋田委員  
〈鳥取県西部医師会館〉岡田（隆）・船田・美野各委員

## 【概要】

- ・令和3年度の定期健康診断受診者58,513人のうち、心臓疾患精密検査対象者は1,387人、要精検率は2.37%、そのうち精密検査を受けた者は1,101人、受診率は79.4%（昨年度82.7%）であった。昨年度より3.3ポイント低下し、初めて80%を下回る事となった。
- ・令和3年度の心電図検診成績は、受診者総数19,420人のうち、要精検532人、要精検率2.7%（昨年度2.8%）であった。
- ・若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会を、2026年1月頃に鳥取県で開催することの検討依頼があった。橋田委員を中心に、開催に向け今後進めて行く。

減少傾向である。しかし第8波は、高齢者で亡くられる方が非常に多い。新型コロナウイルス感染症の影響により、健康保持活動にも影響が出ている。健康診断等も受診控えが鳥取県でも見られたが、今後はポストコロナに向けて対策していきたい、若年者心臓検診を含めて、学校と連携しながら対策を継続していければと思う。本日は忌憚のない意見をいただき、より充実した若年者心臓検診が行われることを願う。

## 〈吉田委員長〉

今年度も心電図検診を無事終えることができた。精密検査も概ね終了しており報告が集まってきている。

本日は令和3年度の結果がまとまったため、その報告がある他、いくつか意見を伺いたい内容もある。

## 挨拶（要旨）

## 〈渡辺会長〉

新型コロナウイルス感染症の状況はまだまだ楽観できない状況ではあるが、少しずつ感染者数は

## 報告

### 1. 令和3年度心臓疾患精密検診結果について：

鳥取県体育保健課 前田指導主事

令和3年度定期健康診断受診者数58,513人のうち、心臓疾患精密検査対象者は1,387人、要精検率は2.37%であった。そのうち、精密検査の受診者は1,101人、受診率は79.4%で昨年度より3.3%低下し、80%を下回ることとなった。

精密検査対象者のうち、新規の精密検査対象者は560人、そのうち精密検査を受けた者は484人、受診率は86.43%であった。

定期の精密検査対象者は827人、そのうち精密検査を受けた者は617人、受診率は74.61%であった。定期の対象者の方が受診率は低い傾向にある。集計後に受診される場合もあることから、受診率はもう少し上がると考えられる。

この調査は毎年12月頃に実施されるため、それ以降の実施については最終締め切りを4月末までにしている。今年度は調査以降に報告が1件届いている。

令和3年度心臓疾患精密検査（その他）について（一覧）は、不整脈・心電図異常及び先天性疾患のその他に、どのような病気があるか調査したものである。結果はほとんど昨年度と同様で、不整脈・心電図異常ではADHDにともなう脈拍増加・頻脈等があり、先天性疾患ではCantrell症候群等がある。不整脈・心電図異常及び先天性疾患に重複する病名（完全大血管転位症、ファロー四徴症等）もある。

精密検査未受診の理由は、症状がなく問題ないと判断されている。または、受診が集計後を予定している等が考えられる。

### 2. 令和3年度心電図検診結果について：

鳥取県保健事業団 長谷川課長

今年度もコロナ禍で日程変更等はあったが、検診を無事終了することができた。

実施学校数は延べ246ヶ所、受診者総数は

19,420人（小学校：9,512人、中学校：4,680人、高等学校・高等専門学校：4,935人、盲・聾・養護学校：237人、その他：56人）であった。そのうち、正常範囲は18,888人、要精検は532人（内通院中要精検者は64人）で要精検率2.7%であった。各地区の要精検率は東部：2.9%、中部：2.3%、西部：2.8%となっている。要精検率は、過去5年間とほぼ同等の数値となっている。

至急受診は5人であり、内訳は全てQT延長であった。内訳は、東部の小学校1年生が1人、中学校1年生が2人、高校1年生が2人であった。

その他の内訳は、鳥取緑風高校通信制課程、米子白鳳高校通信制課程、米子工業高等専門学校4・5年生であるが、年齢の関係もあり分けて集計している。

## 協議

### 1. 令和4年度以降の実施体制について

心臓疾患精密検査登録医療機関の更hands続きは、令和6年度中となっている。実施体制については、新たな見直しはなく、令和5年度も同様の体制で行っていくことが確認された。

委員等より次のような意見があった。

- ・令和3年度心臓疾患精密検査受診率が初めて80%を下回った。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、さらなる受診率の低下が懸念されるため、更なる受診勧奨が必要である
- ・県体育保健課の前田指導主事より、保護者から学校へ年1回は学校生活管理指導表を提出していただくようお願いしている。しかし、医療機関によっては文書料を請求されることが検診未受診、学校生活管理指導表未提出の要因となっている。このため学校としては受診毎に提出いたいただきたいが、少なくとも症状に変化があった際には記載し提出することとしている。

については生活管理指導表の文書料の補助について、予算要求は県健康政策課にもしているが、通っていない状況であり、国にも意見は伝

えているところである。

## 2. 令和4年度心臓検診従事者講習会の日程について

例年、倉吉市において県教育委員会学校保健会との共催で1～2月に開催している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。そのため令和4年度は、昨年と同様の内容で計画されている。令和5年2月19日（日）午後1時30分～午後2時30分に、倉吉体育文化会館の大研修室にて開催予定である。講師は、委員の鳥取県立厚生病院の橋田祐一郎先生である。

## 3. その他

### ①若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会について

吉田委員長より若年者心疾患・生活習慣病対策協議会について説明があった。

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会が令和5年度は三重県、令和6年度は岐阜県で開催される

ことが決定している。その後の令和7年度（2026年1月頃）に鳥取県にて、若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会の開催依頼があり、橋田委員を中心に開催に向け前向きに検討している。

過去には、鳥取県でも昭和60年と平成23年に開催されている。若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会は、心臓病検診に携わられている委員が全国より集まれる。

今年度は令和5年1月29日（日）に高知県にて現地で開催された。今年度の総会には橋田委員、美野委員が参加されている。今後も動向を見ながら進めていく。

### ②精密検査受診医療機関の受診期間について

鳥取県立中央病院小児科より、本来は4月から10月を受診目安としているが、それ以降にも受診があり、通常の診療に影響が出ているとの意見があった。このため、令和5年度より精密検査受診医療機関一覧の記載事項に、受診可能日時と併せ、希望があれば期間も記載することとした。

# 心臓検診従事者講習会

**日時** 令和5年2月19日（日）  
午後1時30分～2時35分  
**場所** 倉吉体育文化会館「大研修室」  
倉吉市山根  
**出席者** 43名（医師35名、その他8名）

### 開 会

鳥取県健康対策協議会理事 岡田克夫先生

### 挨 拶

若年者心臓検診対策専門委員会委員長 吉田泰之先生

### 講 演

座長 若年者心臓検診対策専門委員会委員長  
吉田泰之先生

**講師** 鳥取県立厚生病院 小児科  
新生児集中治療室部長 橋田祐一郎先生  
**演題** 「学校心臓検診と学校現場における突然死」

### 閉 会

### その他

鳥取県医師会指定学校医制度 5単位  
日本医師会生涯教育制度 1単位  
カリキュラムコード（CC）44 心肺停止（1単位）

※本講習会終了後、同会館「大研修室」にて「第36回鳥取県医師会学校医・園医研修会」を開催。